

京都市会議員

# 村山祥栄



- 昭53年2月7日生 下鴨在住
- 下鴨小、東山中、東山高、専修大学法学部卒
- 衆院議員秘書、(株)リクルート勤務
- 25歳最年少で市会議員初当選。
- 市長選挙立候補するも惜敗。京都産業大学講師、学習塾経営を経て京都党結党。現在市議4期目。
- 政治姿勢:本来あるべき姿に正す「原点回帰」
- 著書:京都・同和「裏」行政(講談社)  
税金フリーライダーの正体(講談社)

PRESS MURAYAMA SHOEI Vol. 45

## 児童相談所問題の顛末

前代未聞！京都市は隠蔽、対処の遅れを論理のすり替えで犯人探し。市の対応、国でも問題に。

### 「村山市議、参考人招致へ」

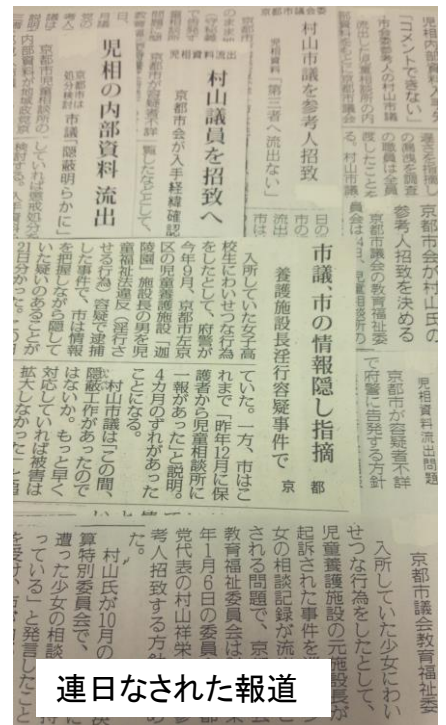
新聞各紙にその文言が踊り、市民の皆様をさぞ驚かせたことと思います。

参考人招致とは、大学教授など有識者から意見を聴くという類のものですが、国会の証人喚問と混同して困惑された方もいらっしゃるようですが、そういった類ではありませんから安心して下さい(笑)

少しことの顛末をお話します。

平成27年9月8日、17歳の入所児童にみだらな行為を行った児童養護施設の施設長が児童福祉法違反で逮捕された。当初、担当する京都市児童相談所は、26年12月24日にはじめて母親より相談を受け、事実確認に乗り出し、このたび逮捕に至ったと経過を報告していた。

しかし、私の元には全く異なる事実がもたらされた。(2Pへ続く)



連日なされた報道

私は入手した内部資料から、実は市の報告より四ヶ月前の事件直後の26年8月に保護者から児童相談所に相談があったという事実を掴み、10月議会で追及した。性的虐待は発見が極めて困難な虐待で、あいまいな情報であっても察知した場合速やかに対応するのは原則だが、京都市はその措置を怠った上に、職務怠慢の批判を避けるため、この事実を隠ぺいしたのだ。

問題の元凶は児童相談所の体制にある。京都市は児童福祉司が全国一多いとうたっているが、他都市のように全庁的にサポートする体制もなく、実態は全くの職員不足で、一人で100件以上の保護児童を常時抱え、対応しきれていない。

### 「自らの過ちを棚に上げ・・・」

私はこれらの問題の指摘とサポート体制の強化を提案したのだが、この深刻かつ重大な事案に行政は、論理のすり替えというとんでもない対応に乗り出した。自分たちのミスを棚に上げ、最高機密レベルの情報が流出したことの方が問題で、流出させた公務員の守秘義務違反を盾に私の指摘をスルーし、こともあろうに犯人探しを始めたのだ。

私に情報提供した人間を、犯罪者扱いし、犯人探しを続ける京都市は結局犯人を特定できず、被疑者不詳のまま警察に刑事告発すると言っている。ちなみに報道ではまるで村山が告発されるかのように映っているが、告発されるのは守秘義務違反をしたという公務員であって、私ではない。問題はそんなところではない。この行為自体大変な問題を孕んでいるので申し上げたい。

組織というものは、企業であれ役所であれ、不正や間違いが必ず起こる。それを少しでも自浄作用を働かせるために、国は公益通報制度という内部告発の制度を作った。



### 市の対応が消費者庁でも問題に

これまでこの内部告発でどれだけの命が救われたことか。東芝の不公正処理、免震ゴム事件、障がい者施設の虐待などなど、全て内部告発が発端だ。その為、国は内部告発者への報復的処分を禁じ、告発者を保護する仕組みにしている。ちなみに議員への内部告発も公益通報窓口準じた窓口とされており、今回の京都市の対応は法の趣旨を逸脱し、既に消費者庁でも問題になっている。挙句の果てに私を委員会に招いて意見を聴くと言う事態にまで至った。私は堂々としたものだが、情報提供者にはさぞプレッシャーだろう。私はそれを諫め、かつ私は議員として情報提供者を絶対に守るという意思表示の為に委員会へ出席した。

正したいと内部告発したら処分されるなら誰も通報しなくなる。内部告発をする人間を探して処分しようなど言語道断。公益通報制度を根幹から揺るがす由々しき事態。村山に協力したら痛い目にあうぞという見せしめか。この行為により損なわれる将来の利益の大きさを理解すべきであり、何よりこれを恐怖政治と呼ばず何と呼ぶのであろうか。

内部告発を受ける側のマスコミが注目しているのもその為である。

ちなみに、それ以降も私の元には内部告発が続々と届いている。

## 部下より給与の安い部長、年収1千万円の平社員？！

### 「出世したくない症候群」

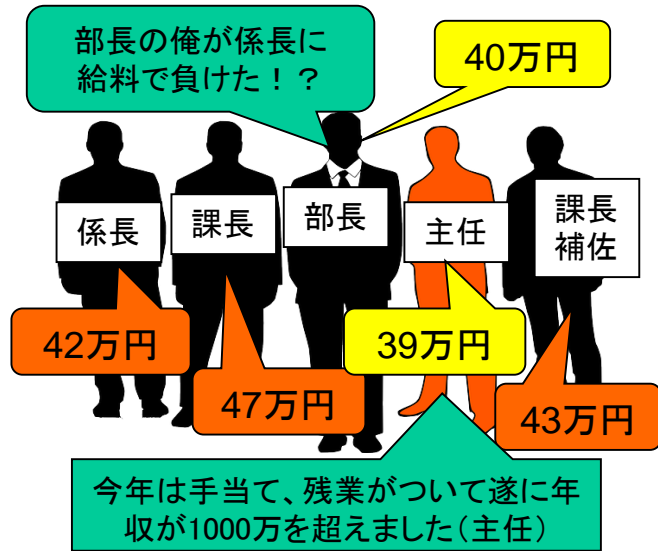
「次のアからウの問題のうち1つを選び、説明しなさい。」

ア、エボラ出血熱 イ、LED ウ、京都市空き家活用・適正管理条例  
これは消防局の消防司令補試験の一部だ。この決して特別難しいとは言いがたい昇任試験だが、この試験の平均点は28点だった。市役所本庁の係長試験と比べて、受験率こそ72%と高いものの、合格したくないのがありありと伝わってくる。上司は試験を受けさせるよう奨励し続けているが、笛吹けど踊らず。ついにこの試験の合格点は40点だった。なぜ、若者は出世したがるのだろうか。その実態に迫りたいと思う。

### 究極の年功序列を破壊せよ！

このたび消防局の給与分析を実施したところ、可笑しいことが山積していた。役所の給与は8階級に分かれ、さらに各階級ごとに100段階以上の号級に細かく分類されている。しかし、問題は年功序列色が強烈で、懲戒処分者などを除き、多少問題を起こそうが、勤務態度が不良であろうが、毎年4号級ずつ給与は増えていく。そして、平職員のままでも、年齢や経験が高ければ、上司よりも給与が高くなる仕組みになっていることである。

具体的に見ていこう。消防局の某部長の月給は40万7100円だ。しかし、彼の給与は、部下である課長106名全員より安い。



それどころか、課長補佐86名中72名、また係長67名よりも少ない。あわせると、この部長は245名の部下より給与が少ない。一方で月給39万4800円の平職員が192名もおり、彼らと部長の給与差はたった12300円しかない。さらに、調査を進めると、平社員で最も年収が高い職員は1006万円。なんと2階級上の課長補佐級の最高年収を上回る。

なぜ、こんなことになるのか。階級、職務よりも年齢が最優先されるからだ。実は役所には職務給の原則(地方公務員法24条)というのがある。職務に見合った給与を払えというものだが、実態は全く無視状態だ。これが「出世したくない症候群」の原因だ。同時に、出世したくない症候群が溜まる平社員の最高位(三級・主任職)に消防職員の41%が在籍し、全員が上級並みの給与を得ている。局長クラスの給与をもらっているのが192人、部長級が260人、課長級が182人、課長補佐級が57人、係長級が12人だ。これが公務員給与を引き上げている大きな要因であることも見逃せない。大阪市では既に橋下改革の下、各級の最高額が二階級上の最低給与を超えないよう、上司と部下の給与の逆転現象が少なくなるよう見直しを図った。京都市でも早々に検討せねばならない。

(平成27年10月6日決算審議)



## ■京都市長選挙について

12月、京都党は市長選挙の独自候補を模索する中、京都維新の会より私に対して出馬要請を頂きました。現時点でこのようなお声を頂くことは大変光栄に存じますが、後援会の皆様と協議の結果、市長選出馬せずの決断を致しました。多くの方々からご期待を頂きましたが、今はご信託頂いた市議会の議席において議会人として職責を全うして参りたいと存じます。引き続き宜しくお願いします。(祥栄)

## 講演講師・茶話会

### 呼んで下さい！

会合での講演、ご近所さんの茶話会など呼んで頂きましたら伺います。  
(少ない人数でも喜んで)

## ポスター、掲示板の掲示

### に御協力下さい。

ガレージ、家屋などに長期間にわたりポスター、掲示板をご掲示頂ける方は是非ご連絡お待ちしております。

さらに詳しい活動報告は、機関紙「京都再生」で！

## 村山祥栄友の会会員募集

会員証の発行や市政の今を綴った機関紙「京都再生」(年4回・10P)の郵送を通じ、継続的に村山祥栄の政治活動にご理解賜りご支援頂ける会員を募集しております。宜しくお願いします。



**入会特典・拙著・地域政党(サイン入り)を進呈中**

年会費 一口3000円(その他、カンパも承っております。)

友の会・カンパ振込先: 郵便振替00970-2-181324 村山祥栄政策フォーラム

各種お問い合わせ先 村山祥栄事務所 電話075-712-9962 FAX712-9963

## ご意見、相談何でもどうぞ！市民ご意見箱

地域の問題、お困りごと、市政に対するご意見・ご不満何でも承ります。どしどしご意見下さい。

電話(上記参照)、メールshoei@snow.odn.ne.jp、  
下記FAX712-9963・郵送でお願いします。



----- FAX用ご意見箱 (このまま送信ください) -----

お名前

電話番号

ご意見・ご相談

※匿名でのご投稿はお返事致しかねますのでご了承ください。ご意見は承ります。